

『授業連携報告書』

学校名	四日市市立内部小学校					
授業のテーマ						
Scratchで人工衛星を学ぼう						
目標(授業連携をした目的等)						
プログラミングを体験し、プログラミング的思考ができるようになる。 宇宙やJAXAの活動に興味を持ち、自分の考え方や視野を広げようとする。						
実施対象	学年	小6	3	クラス	合計	83 名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)				
単元	発電と電気の利用		授業日	1 2 2	月	28 9 10 日
授業連携の前後の授業内容について						
前	月と太陽の学習(月の満ち欠けの仕組み) 発電と電気の利用の学習(手回し発電機, 光電池, コンデンサーなど)					
後	教科書にある「プログラミングを体験しよう」に取り組む。					
時間配分	学習内容・活動		児童・生徒の様子		学校(先生)の役割・活動	
導入 20 分	JAXAの活動紹介 人工衛星クイズ 簡単なプログラミングの事例を見る。		人工衛星はどんなところに使われているかのクイズでは、挙手をしたり、正解を聞いて喜んだりする姿が見られた。 人工衛星がプログラミングで制御されていることに興味を持っていた。		児童の指名	
展開 55 分	①Scratchの基本操作を知る。 ②簡単な操作体験をする。 ③人工衛星を制御するプログラムを作成する。		説明を聞きながら、一つ一つ確認をしていた。ゆっくり説明をもらったので、ほとんどの子が遅れることなく操作をすることができていた。 自分が作成したプログラムで人工衛星が動く様子を見て喜んでいった。友だちと動き方が違うと、プログラムのどこに間違いがあるのかを見比べていた。		操作が確実にできているかの確認 操作方法のアドバイス 児童の進捗状況を把握し、講師に伝える	
まとめ 15 分	感想を発表する。 プログラミングを体験して考えたことや分かったことを授業の振り返りとしてまとめる。		4人の児童が感想を発表した。ふりかえりをワークシートに記入した。多くの子が枠をいっぱい埋めるくらいたくさん書けていた。		児童の指名 ワークシート配付・回収	

授業連携の感想・メモ

大変分かりやすい説明だったので、子どもたちが困ることなくプログラミング学習を進めることができた。
子どもたちの感想の中には、人工衛星が身近なところで私たちの生活に関わっていること、JAXAが宇宙事業だけでなく、今回のように子どもたちに宇宙についての学習を展開してくれていることを知って、とても大変な仕事であると感じていた。また、自分も宇宙に関わった仕事をしたいなど将来の夢につながっている子もいた。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。 宇宙や人工衛星についての興味を持ち、自分でもさらに調べたいという子が増えた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	